

17年3月期業績総括 及び 18年3月期事業戦略

SCSK株式会社

代表取締役 社長執行役員

谷原 徹

2017年4月28日

ありたい姿

お客様視点で考える

ITは道具である

知恵を絞り、解決策を導く

お客様の事業拡大に貢献する

付加価値を提供する

戦略的ITパートナーを目指す

当社の総合力（フルラインサービス）を活かして

Ⅱ.2017年3月期業績結果

◆2017年3月期 通期業績

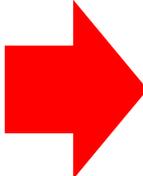
(単位：億円)

	16年3月期	17年3月期	増減率
売上高	3,239	3,293	+1.7%
営業利益	317	337	+6.1%
経常利益	336	361	+7.5%
当期利益	269	284	+5.6%

Ⅱ.2017年3月期業績結果

◆株主還元

	16年3月期	17年3月期 期初予想
配当	75円	85円



17年3月期
90円

Ⅲ.2018年3月期業績予想

◆2018年3月期 業績予想

(単位：億円)

	17年3月期	18年3月期 (予想)	増減率
売上高	3,293	3,400	+3.2%
営業利益	337	360	+6.8%
経常利益	361	370	+2.4%
当期利益	284	245	△13.9%
配当	90円	95円	—

サービス提供型ビジネスへのシフト

戦略的事業の推進

グローバル展開 第2ステージ

IV. 新年度事業戦略の考え方

◆ サービス提供型ビジネスの進捗

金融

- Bank Savior
- MINEFOCUS
- FR2GO
- 証券業務システム

製造

- デジタルマーケティング

基幹系他

- ProActive
- FastAPP

コミュニケーション

- PrimeTiaas
- コンタクトセンター
- CELF

ITインフラ・運用

- USiZE
- AMOサービス
- CarePlus

- 課金・顧客管理システム

- オムニチャネル支援
- ECトータル
アウトソーシング
- スマクラ
- CHOIS

通信

流通

業界特化

共通基盤・サービス

IV.新年度事業戦略の考え方

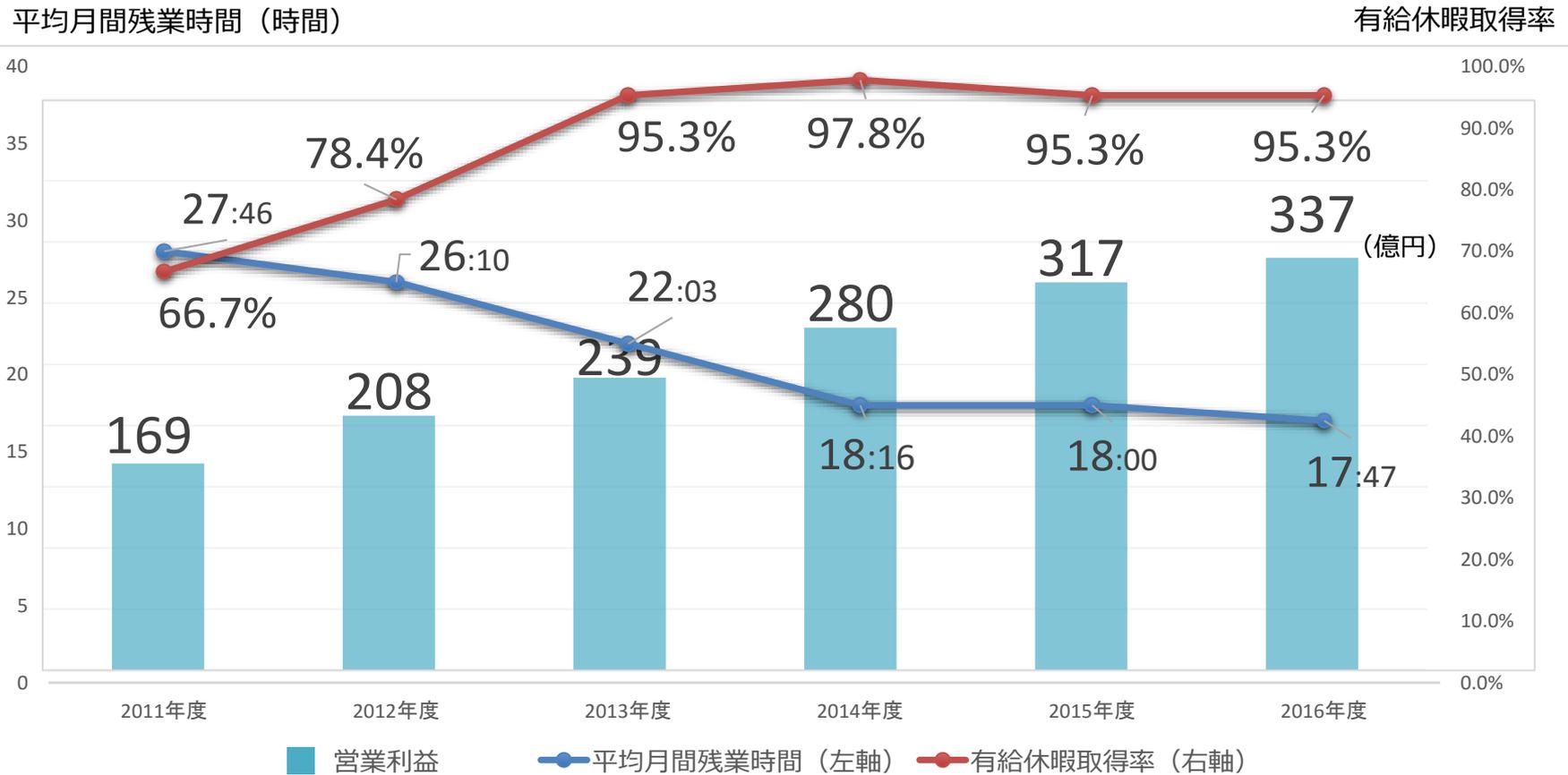
◆ 車載システム事業について

複雑化・大規模化する車載ソフトウェアを、
品質を担保しながら生産性高く開発



日本の自動車業界のグローバル競争力強化に貢献する

◆ 営業利益と平均月間残業時間・有給休暇取得率の推移



※2011年度の営業利益は、SCSKの通期決算数値とCSKの上半期決算数値を合算したものです。

◆社外からの主な評価

第1回 働きやすく生産性の高い企業・職場表彰
「大企業部門・最優秀賞 厚生労働大臣賞」を受賞

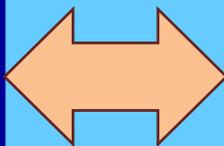


■ 経済産業省・東京証券取引所
「健康経営銘柄」に3年連続選定
(2014年度、2015年度、2016年度)



■ 経済産業省・東京証券取引所
「なでしこ銘柄」に3年連続選定
(2014年度、2015年度、2016年度)

コーポレート・ガバナンスの
強化



取締役会改革

- ・ 取締役会のスリム化
- ・ 執行と経営のさらなる分離
- ・ 監督機能のさらなる強化

夢ある未来を、共に創る

お客様からの信頼を基に、共に新たな価値を創造し、
夢ある未来を拓きます。

< 免責事項 >

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。